

2023年度

転学部・転学科要項



東京理科大学

2023年度転学部・転学科志望者については、以下のように取り扱います。

1. 転学部・転学科について

転学部とは、現在在籍する学部から他の学部へ転籍する場合をいいます。

転学科とは、同一学部内において、現在在籍する学科から他の学科へ転籍する場合をいいます。

(注 意)

- (1) 工学部第二部は学生募集の停止に伴い、2016年度以降の転学部・転学科試験を実施しない。
- (2) 薬学部生命創薬科学科は2023年度の転学部・転学科試験を実施しない。
- (3) 先進工学部物理工学科及び機能デザイン工学科、経営学部国際デザイン経営学科は転学部・転学科試験を実施しない。
- (4) 2023年4月より理学部第一部応用物理学科は先進工学部物理工学科として改組することに伴い、以下のとおりの取り扱いとします。
 - * 2023年度転学部転学科試験による入学者は、卒業まで理学部第一部応用物理学科所属となるため、2023年度の改組後もカリキュラム等に影響はありません。
 - * 2024年度以降は、転学部転学科試験を実施しません。

2. 各学部の取り扱い

特に記載がない限り、所属学科にかかわらず出願できます。

(1) 理学部第一部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
数学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 微積分学 論理と集合 線形代数学 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。	第2学年	原則として60単位 以内	振替可能な科目の単位認定については、数学科の判断で行う。 ただし、筆記試験科目の単位認定に際しては、その試験結果も判断材料とする。 なお、当学科の履修制限により、残り3年間で卒業できない場合もあり得る。
物理学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 数学 物理 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。 また、次の科目を修得していること。(修得見込みを含む。) (2017年度以前入学者) 「英語4単位」および「物理に関する分野2単位以上」 (2018年度以降入学者) 「一般教養科目のうち英語系4単位」および「物理に関する分野2単位以上」	第2学年	原則として60単位 以内	本学科では1年次より専門科目の履修を行っているため、3年間で卒業できない可能性がある。
化学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 有機化学 無機化学 物理化学 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること。1年の必修専門科目の全てを修得していること(修得見込みを含む)。また、次の科目を修得していること(修得見込みを含む)。 (2017年度以前入学者) 「英語4単位」「人間科学分野8単位以上」 (2018年度以降入学者) 一般教養科目のうち「英語系」4単位「英語系以外」8単位以上	第2学年	原則として60単位 以内	2年次に受入れた場合も、3年間で卒業できない可能性がある。
応用数学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 微積分 線形代数 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。	第2学年	原則として60単位 以内	本学科では1年次に修得しておくべき科目を履修していない場合には、2年次に受入れたとしても3年間で卒業できない可能性がある。 単位の認定については、一般教養科目、基礎科目の範囲で行う。

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
応用物理学	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 数学 物理 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。また、次の科目を修得していること。(修得見込みを含む) (2017年度以前入学者) 「英語4単位」 (2018年度以降入学者) 「一般教養科目のうち英語系4単位」	第2学年	原則として60単位以内	力学1A・B、電磁気学1A・B、物理数学1A・Bに相当する科目を修得していなければ、2年次に転学部した後、履修すること。 1年必修科目の基礎物理学実験A・Bに相当する科目を修得していない場合は、2年で「基礎物理学実験A・B」、3年で「物理学実験A・B」、4年で「応用物理学実験A・B」を履修しなければならない。従って、その場合は2年に転学部しても3年間で卒業できない。
応用化学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 志望理由書 2. 筆記試験 : 有機化学 無機化学 物理化学 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の2年進級条件を満たしていること。1年の必修専門科目の全てを修得していること(修得見込みを含む)。また、次の科目を修得していること(修得見込みを含む)。 (2017年度以前入学者) 「英語4単位」「人間科学分野8単位以上」 (2018年度以降入学者) 一般教養科目のうち「英語系」4単位「英語系以外」8単位以上	第2学年	原則として60単位以内	2年次に受入れた場合も、3年間で卒業できない可能性がある。

(2) 理学部第二部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
数学科 物理学科 化学科	1. 書類選考 : 志望理由書 2. 面接 : 全員に実施	転学部・転学科の理由が明確であること。勉強意欲が旺盛であること。 在籍学科の2年進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。	原則として 第2学年	認定できない場合もある。	転学部・転学科を希望する場合は、必ず現所属学科および希望する学科の教員とよく相談すること。 許可学年は、志望学年にかかわらず修得単位に応じて決定する。

(3) 薬学部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
薬学科	1. 書類選考 : 成績証明者 志望理由書 2. 筆記試験 : 専門科目試験 小論文 3. 面接 : 実施する	次の要件をすべて満たす者 (1)生命創薬科学科の第2学年以上に在籍していること。 (2)生命創薬科学科の第2学年までの必修科目をすべて修得している(または修得見込である)こと。 なお、受験時点で以下の科目を修得していることが望ましい。 薬用植物学、医薬資源学実習、実践社会薬学、生薬学、栄養と健康、漢方概論、疾病と病態1、スペクトル解析、生物有機化学、微生物学2、免疫学、薬品物理化学3	第3学年	薬学科の卒業所要単位に含まれる履修科目と振り替え可能と認定された科目	(1)2年次までの成績についても選考の対象とする。 (2)標準履修学年以外の科目については、授業時間割における必修科目の重複等の考慮はしないため、標準在籍期間で卒業できない場合もあり得る。 (3)卒業要件については、別途2021年度学修簿を確認すること。

(4) 工学部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
建築学科 工業化学科 電気工学科 情報工学科 機械工学科	1. 書類選考 : 志望理由書 2. 筆記試験 : 数学、英語、理科* *建築学科、電気工学科、情報工学科および 機械工学科は『物理』 工業化学科は『化学』 試験内容は、学部1年修得程度とする。 3. 面接 : 全員に実施	在籍学科での進級資格を得ること(進級見込みを含む)。また次の学科への出願には制限がある。 機械工学科:他学部機械工学科からの出願は認めない。	原則として 第2学年	認定できない場合もある。	本学部では、第1学年より専門科目の履修を行っているので、第2学年への転学部・転学科であっても3年間で卒業できない場合がある。転学部・転学科を希望する場合は、必ず現所属学科および希望する学科の教員とよく相談すること。

(5) 創域理工学部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
数理科学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 筆記試験 : 数学 3. 面接 : 必要に応じて実施	在籍学科の数学に関する科目を優秀な成績で修得していること(修得見込みを含む)。在籍が2年以内であること。	第1学年 または 第2学年	学科内の審査基準により認定範囲を決定	
先端物理学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 面接 : 口頭試問を含む	在籍学科の進級条件を満たしていること(進級見込みを含む)。	原則として 第2学年	当学科の履修科目として振り替え可能と認定した科目	本学科で1年次に修得しておくべき科目を十分に修得していない場合、3年間で卒業できない可能性がある。
情報計算科学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 筆記試験 : 数学 3. 面接 : 口頭試問を含む	在籍学科の1年次必修科目をすべて修得していること(修得見込みを含む)。成績が優秀で、在籍が2年以内であること。	原則として 第2学年	当学科の履修科目として振り替え可能と認定した科目	
生命生物科学科	1. 書類選考 : TOEICあるいはTOEFLのスコアシート ※ 2. 筆記試験 : 生物学 3. 面接 : 口頭試問を含む	在籍学科における成績が上位1/3以内であること。原則として在籍1年以内に限る。在籍学科の1年次の必修科目をすべて修得していること。	原則として 第1学年	一般科目、基礎科目(基礎基礎)。なお、在籍学科の科目で当学科の基礎科目(専門基礎)に該当する科目を認定することがある。	※出願時にTOEICあるいはTOEFLのスコアシートを提出すること。なお、試験当日に英語の筆記試験は実施しない。詳細は、P8(2)出願書類提出②出願書類(オ)を確認すること。
建築学科	1. 書類選考 : 実施する 2. 面接 : 口頭試問を含む	転学部・転学科の理由が明確であること。成績が優秀で、在籍が2年以内であること。	原則として 第2学年	科目の内容および単位数を当学科のものと照合し、同等であると認められたもの。	転学部・転学科を希望する場合は、出願前に必ず現所属学科の教員、及び創域理工学部建築学科の学科主任ならびに教務幹事と相談すること。
先端化学科	1. 筆記試験 : 化学 2. 面接 : 口頭試問を含む	在籍学科の専門領域科目よりも先端化学科の専門領域科目が適していること。他学部からの出願は認めない。成績が優秀で、在籍が2年以内であること。	出願者の希望、在籍学年、成績、筆記試験、面接等より判定する。		先端化学科からの転出に関しては、他学部への転学部は認めない。
電気電子情報工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績、及びTOEICあるいはTOEFLのスコアシート 2. 筆記試験 : 数学 物理 3. 面接 : 実施する	勉学意欲が旺盛であること。	第1学年 または 第2学年	科目の内容および単位数を当学科のものと照合し、同等であると認められたもの	※出願時にTOEICあるいはTOEFLのスコアシートを提出すること。なお、試験当日に英語の筆記試験は実施しない。詳細は、P8(2)出願書類提出②出願書類(オ)を確認すること。
経営システム工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 筆記試験 : 数学 英語 経営工学専門科目 3. 面接 : 書類選考・筆記試験の双方で合格となったもののみ	転学部・転学科の理由が明確であること。成績が優秀で、在籍が2年以内であること。	出願者の希望、在籍学年、成績、筆記試験、面接等より判定する。		

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
機械航空 宇宙工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 面接 : 口頭試問を含む	成績が優秀で、在籍が2年以内 であること。なお、他学部機械 工学科からの出願は認めない。	原則として 第2学年	同一科目あるいは 振り替え可能な科 目	転学部・転学科を希望する場 合は、出願前に必ず理工学部 機械工学科の学科主任およ び学科幹事(教務)と相談す ること。
社会基盤 工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 面接 : 口頭試問を含む	成績が優秀で、在籍が2年以内 であること	志願者の状況に応じる。		

(6) 先進工学部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
電子システム 工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 面接 : 口頭試問を含む	志望動機が妥当であること。 他学部からの出願は認めない。	第1学年 または 第2学年	当学科卒業所要 単位に含まれる履 修科目と振り替え 可能と認定された 科目	出願条件として学習能力が十分 であると認められたもので、且 つ出願時の学年が第3学年以 下であること。 振り替え可能単位数が、当学 科1年の標準的な取得単位数 に比べ過少であるときは、第1 学年に受入れることがある。
マテリアル 創成工学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成績 2. 面接 : 口頭試問を含む	転学部・転学科の理由が妥当 であること。履修した科目の内、 当学科の履修科目として振り替 え可能な科目が2年次以降の 学習に支障を来さない範囲に 達していること。	原則として 第2学年	当学科の履修科目 として振り替え可 能と認定された科目	出願条件として学習能力が十分 であると認められたもので、且 つ出願時の学年が第3学年以 下であること。
生命システム 工学科	1. 書類選考 : 実施する 2. 筆記試験 : 自然科学 3. 面接 : 口頭試問を含む	在籍学科の専門領域科目よりも 当学科の専門領域科目が適し ていること。 他学部からの出願は認めない。	第3学年 以下	一般科目および一 部の基礎科目、専 門科目	出願条件として学習能力が十分 であると認められたもので、且 つ出願時の学年が第3学年以 下であること。 出願は先進工学部在籍す るものに限る。 ※出願時にTOEICあるいは TOEFLのスコアシートを提出 すること。詳細は、P8②出願 書類(オ)を確認すること。

(7) 経営学部

学科	選考方法	出願条件	受入学年	単位認定 範囲等	備考
経営学科	1. 書類選考 : 現在在籍学科での成 績、およびTOEICまた はTOEFLスコア 2. 面接 : 口頭試問を含む	転学部・転学科の理由が明確 であること。	第2学年 または 第3学年	当該学年の学生が その学年までに修 得することのできる 科目の単位数を限 度とする。	出願時にTOEICまたは TOEFLのスコアシートを提出 すること。
ビジネス エコノミクス 学科	1. 書類審査 : GPA、TOEICまたは TOEFLスコア等によ る。また転学科につ いては1年次のプレイ メントテストもこれに含 める。 2. 面接 : 基礎学力に関する口頭 試問を含む。	転学部・転学科の理由が明確 であること。	第2学年 または 第3学年	当該学年の学生が その学年までに修 得することのできる 科目の単位数を限 度とする。	出願時にTOEICまたは TOEFLのスコアシートを提出 すること。

3. 試験日および試験時間等

学部	学科	試験日	試験場	試験時間等
理学部第一部	数学科	2月24日(金)	神楽坂キャンパス (神楽坂校舎)	9:00~12:00
	応用数学科 物理学科			9:00~11:00
	応用物理学科		葛飾キャンパス	
	化学科 応用化学科		神楽坂キャンパス (神楽坂校舎)	10:00~12:00
理学部第二部	数学科 物理学科 化学科	3月4日(土)	神楽坂キャンパス (神楽坂校舎)	面接試験 時間については個別に指示する
薬学部	薬学科	2月17日(金)	野田キャンパス	筆記試験 10:00~(専門科目試験、小論文) 面接試験 時間については、筆記試験時に指示する
工学部	建築学科 工業化学科 電気工学科 情報工学科 機械工学科	2月25日(土)	葛飾キャンパス	筆記試験 第1回目 10:00~11:40(数学) 第2回目 12:30~13:30(英語) 第3回目 14:00~15:20(理科) 面接試験 16:30~
創域理工学部	数理科学科	2月15日(水)	野田キャンパス	筆記試験 9:00~11:00(数学) 面接試験 12:00~
	先端物理学科			面接試験 10:00~(口頭試問を含む)
	情報計算科学科			筆記試験 10:00~11:30(数学) 面接試験 13:00~(口頭試問を含む)
	生命生物科学科			筆記試験 10:00~11:30(生物学) 面接試験 13:00~(口頭試問を含む)
	建築学科			面接試験 10:00~(口頭試問を含む)
	先端化学科			筆記試験 10:00~11:00(化学) 面接試験 11:10~(口頭試問を含む)
	電気電子 情報工学科			筆記試験 第1回目 10:00~11:30(数学) 第2回目 12:40~14:00(物理) 面接試験 15:00~
	経営システム 工学科			筆記試験 第1回目 10:00~11:00(数学) 第2回目 11:10~12:10(英語) 第3回目 13:00~14:00(専門) 面接試験 15:00~
	機械航空宇宙工学科			面接試験 10:00~(口頭試問を含む)
	社会基盤工学科			面接試験 10:00~
先進 工学部	電子システム工学科	2月24日(金)	葛飾キャンパス	面接試験 10:00~(口頭試問を含む)
	マテリアル創成工学科			面接試験 10:30~(口頭試問を含む)
	生命システム工学科			筆記試験 10:00~11:00(自然科学) 面接試験 14:00~(口頭試問を含む)
経営学部	経営学科 ビジネス エコノミクス学科	1月31日(火)	神楽坂キャンパス (富士見校舎)	面接試験 14:00~

注意: 試験場の詳細については、試験日当日、試験案内の掲示板で確認してください。

(1) 選考の実施についての注意事項

① 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等)に罹患し、治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、審査料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

※新型コロナウイルス感染症については「8. 新型コロナウイルス感染症に対する特例措置」を参照してください。

② 自然災害や火災・停電・交通機関の大幅な遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験開始時刻の繰り下げ、試験の延期、試験会場の変更等の措置をとることがあります。本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、出願書類提出先の学部事務課等を通じて行います。なお、このことに伴う受験者の不利益について、本学は一切その責任を負いません。

4. 出願方法

出願には(1)と(2)の手続きが必要になります。

(1) 受験許可手続(願書、受験票及び理由書作成)

① 記入例を参照のうえ、願書を正確に記入してください。(B)受験許可書の学部長の許可印は、現在在籍している学部の学部事務課にて、手続期間内に受けてください。

※理学部第二部在籍の学生は、学部独自の審査を行うことがあります。

※薬学部在籍の学生は、願書作成前に在籍学科主任と相談すること。

※理工学部在籍の学生は、願書作成前に在籍学科主任(または教務幹事)と相談すること。

※先進工学部在籍の学生は、願書作成前に在籍学科教務幹事と相談すること。

② (C)票には写真(出願前3か月以内に撮影の、脱帽、上半身正面、眼鏡使用者は眼鏡を使用したもの)を貼付してください。はがれる恐れがあるので裏面に氏名を記入してください。

この写真は学生証用として使用いたします。

※理由書は詳細に記入してください。

③ 受験許可手続期間は在籍学部・出願学部に関わらず、以下のとおりです。

2022年12月8日(木)～12月12日(月) 窓口取扱時間

理学部第二部は15時～21時30分(18時30分～19時20分除く)

ただし土曜、日曜、祝日は除きます。

(2) 出願書類提出

① 出願方法

(ア) 願書(B)票に当該学部長受験許可印押印後、審査料35,000円をP.8③出願書類受付期間内に、金融機関のATMから下記の口座に納入し、振込明細書等の原本を「転学部・転学科審査料納入書類等貼付台紙」に貼付してください。

※一度納入した審査料は、理由の如何を問わず返還しません。

※振込手数料については振込人(出願者)負担となります。

※事情により原本の提出が難しい場合等は、学部事務課窓口にご相談ください。

審査料の振込先	銀行名:みずほ銀行 支店名:飯田橋支店 預金種目:普通預金 口座番号:1000200 口座名義:東京理科大学(トウキョウリカダイガク)
---------	---------------------------------------------------------------------------

(イ) 出願書類は、審査料納入後、以下の表の出願書類提出先に提出してください。

転学科出願者は、出願学科の置かれている学部(以下の表の出願学部参照)の出願書類提出先に提出してください。

なお、転学部・転学科出願者は、所属学部・学科と出願学部・学科が別地区にある場合、出願書類を「郵便簡易書留速達」で、以下の表の出願書類提出先に郵送しても構いません。

ただし郵送の場合、必ずP.8③出願書類受付期間内(締切日必着)に送付してください。

また、郵送の場合には、出願書類以外に、受験票等送付用封筒(連絡場所を記入のうえ、354円分の切手(速達料金260円+定形郵便料金94円)を貼付)も同封してください。

出願学部		出願書類提出(郵送宛)先	
神楽坂キャンパス	理学部第一部 ^(※2) 数学科、物理学科、化学科、 応用数学科、応用物理学科、応用化学科	理学事務課 転学部・転学科願書受付係	〒162-8601 東京都新宿区 神楽坂1-3
	理学部第二部 数学科、物理学科、化学科	理学部二部事務室 転学部・転学科願書受付係	
富士見校舎	経営学部	経営学事務課 転学部・転学科願書受付係	〒102-0071 東京都千代田区 富士見1-11-2
葛飾キャンパス	工学部 建築学科、工業化学科、電気工学科、 情報工学科、機械工学科	工学事務課 転学部・転学科願書受付係	〒125-8585 東京都葛飾区 新宿6-3-1
	先進工学部	先進工学事務課 転学部・転学科願書受付係	
野田キャンパス	薬学部	薬学事務課 転学部・転学科願書受付係	〒278-8510 千葉県野田市 山崎2641
	創域理工学部 ^(※1)	理工学事務課 転学部・転学科願書受付係	

※1 理工学部は2023年度に創域理工学部に変更します。

詳細は本学ホームページ(<https://www.tus.ac.jp/academics/faculty/sciencetechnology/reorganization/>)をご確認ください。

※2 理学部第一部応用物理学科は、葛飾キャンパスですが、出願は理学事務課(神楽坂キャンパス)となりますので、注意してください。

出願書類に記入された個人情報(「①試験実施(出願処理・選考)」「②選考結果」「③入学手続き」とこれらに付随する業務を行うために利用するものであり、それ以外の目的に使用することはありません。)

② 出願書類

- (ア) 願書(当該学部長の受験許可印のないものは受けません)
- (イ) 理由書(所定用紙)
- (ウ) 転学部・転学科審査料納入書類等貼付台紙
- (エ) 344円分の切手(選考結果通知用(封筒は各学部事務課にて用意))
- (オ) [創域理工学部生命生物科学科、電気電子情報工学科、先進工学部生命システム工学科及び経営学部経営学科、ビジネスエコノミクス学科の志願者]

TOEICあるいはTOEFLのスコアシートの原紙。

○TOEIC(Test of English for International Communication):IPも可、TOEIC Bridgeは不可

○TOEFL(Test of English as a Foreign Language):iBT、ITPのいずれも可

※上記のいずれか1つだけしか提出できません。

※2021年1月1日以降に受験したもののみ有効です。

※提出されたスコアシートは、返却しません。

※不明な点がありましたら、担当学部事務課にお問い合わせください。

※すべての書類において、ボールペンまたは万年筆で記入すること(鉛筆書きは認めません)。

(カ) 受験票

③ 出願書類受付期間

- (ア) 理学部第一部、薬学部、工学部、創域理工学部、先進工学部、経営学部への転学部・転学科志願者
2023年1月10日(火)～1月16日(月) ただし、土曜、日曜、祝日は除きます。
9時～12時、14時～17時
- (イ) 理学部第二部への転学部・転学科志願者
2023年1月10日(火)～1月16日(月) ただし、土曜、日曜、祝日は除きます。
15時30分～18時30分、19時30分～20時30分

5. 合格発表

理学部第一部、理学部第二部、薬学部、工学部、創域理工学部、先進工学部、経営学部
2023年3月8日(水)に可否を本人に速達郵便で発送、通知します。

6. 手続きと学費等

- (1) 転学部・転学科合格者の手続きは、2023年3月10日(金)～3月15日(水)(土日を除く)の間に、学費等を納入(銀行振込)して行います。手続きの詳細は、合格通知の際に指示します。
- (2) 学費等の納付金は次のとおりとします。
入学金、授業料、施設設備費は、転学部または転学科を許可された学年の在学生の額と同額とします。
ただし、転学部または転学科前に納付した入学金および施設設備費の額が、転学部または転学科を許可された学年の在学生の既納額に満たないときは、それぞれの差額を納入します。
- (3) 転学部・転学科手数料を29,000円徴収します。
- (4) 学生傷害共済補償費は、次のとおりとします。(金額は予定)
理学部第一部、薬学部、工学部、創域理工学部、先進工学部、経営学部 2,740円
理学部第二部 2,190円
- (5) 父母会費(こうよう会費)を毎年10,000円徴収します。
- (6) 上記の他に卒業研究費、選択科目実験実習費等を履修に応じて別途徴収することがあります。
- (7) 手続き完了者には、「入学関係書類」を郵送します。

7. 注意事項

- (1) 複数の学部、学科への出願はできません。
- (2) 一度転学部、転学科した学生および編入学生が、転学部・転学科することはできません。
また、一度転学部、転学科試験が不合格となった場合、翌年再度出願することは可能です。
- (3) 書類不備の願書は受け付けません。
また、一度受理した願書類、既納の審査料および転学部、転学科のため納入した学費等は、理由の如何を問わず、これを返還しません。
- (4) 電話または郵便等による選考結果の照会等には、一切応じません。
- (5) 転学部、転学科合格者は、前の学部、学科での修得単位はそのまま認定されない場合もあります。
- (6) 「進級見込み」あるいは「修得見込み」で出願した合格者は、「進級」あるいは「修得」できない場合、合格を取り消すことがあります。
- (7) 2022年度から、新たな教養教育カリキュラムである「TUSくさび形教養教育カリキュラム」を導入しました。これに伴い、2022年度以降のカリキュラムが適用となる学生(一部の学部学科を除く)は、転学部・転学科時の一般教養科目の単位認定の単位数に関わらず3年生以上で4単位以上の一般教養科目を修得する必要があります。また、初習語科目が選択必修となっている学部学科もあります。詳細は出願先の学部事務課にあらかじめ相談してください。
- (8) 2019年より新たな教育職員免許法等が施行されたことに伴い、本学においても2019年度入学生より新しい教職課程が適用されますが、転学部、転学科した場合、現在履修している教職課程を引き続き履修することになります。入学先の学年によって履修上の齟齬が生じることがありますので転学部、転学科先で教職課程の履修を希望する学生は、入学後、所属の学部事務課もしくは教職教育センターへ相談してください。

8. 新型コロナウイルス感染症に対する特例措置

新型コロナウイルス感染症への罹患等が理由で当該試験を欠席した志願者の受験機会を確保するため、下記のとおり特例措置を設けることとします。

- (1) 対象者
出願した者のうち、新型コロナウイルス罹患患者、疑いがある者または濃厚接触者であることが理由で当該試験を欠席し、試験日当日までに特例措置の申請があった者。
- (2) 特例措置による選考方法
出願書類及び在籍学科における2022年度末までの成績を用いて合否判定を行います。
- (3) 特例措置の申請方法
次の書類の写真データ(全項目がはっきりと写っているもの)を用意のうえ、出願書類提出先の学部事務課等に申請を行ってください。
・医師の診断書(加療期間に特例措置を申請する試験日が含まれていること。)
※新型コロナウイルス罹患患者の濃厚接触者であることを理由として欠席し、医師の診断書が提出できない場合は、その事実を確認するための情報(自宅待機等を指示した保健所の名称・連絡先、保健所から自宅待機等を指示された日、健康観察終了日等)を記入した書類(任意書式)を用意してください。

1. 理学部第一部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数
2年	数学	1	1	2年	数学	2	0	2年	数学	5	2
	物理	9	2		物理	3	0		物理	2	0
	化学	4	0		化学	4	0		化学	1	0
	応数	14	4		応数	7	4		応数	7	4
	応物	0	0		応物	1	1		応物	1	1
応化	2	1	応化	6	2	応化	1	0			
合計		30	8	合計		23	7	合計		17	7

2. 理学部第二部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数	志願者なし			
2年	物理	2	2	2年	数学	1	1				
2年	化学	1	0		物理	1	1				
合計		3	2	合計		2	2				

3. 薬学部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数	志願者なし			
3年	薬学	2	0	3年	薬学	3	0				
合計		2	0	合計		3	0				

4. 工学部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
志願者なし				学年	学科	志願者数	合格者数	志願者なし			
				2年	情報	1	0				
				合計		1	0				

5. 理工学部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数
2年	物理	1	1	2年	物理	3	2	2年	物理	1	1
合計		1	1		機械	2	1		情報	1	0
				合計		5	3		建築	1	0
									機械	1	0
								合計		4	1

6. 先進工学部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数	学年	学科	志願者数	合格者数
2年	電応	1	0	2年	電子	1	1	2年	マテリアル	1	0
	材工	3	2		マテリアル	2	1		合計		1
合計		4	2	合計		3	2				

※ 2020年度は、基礎工学部への転学部、転学科状況

7. 経営学部への転学部、転学科状況

2020年度				2021年度				2022年度			
学年	学科	志願者数	合格者数 ^{**}	学年	学科	志願者数	合格者数 ^{**}	学年	学科	志願者数	合格者数 ^{**}
2年	経営	1	0	2年	経営	1	0	2年	経営	2	1
	ビジ	1	0		ビジ	1	1		3年	経営	1
合計		2	0	3年	経営	1	0	合計		3	1
					合計		3	1			

「志望学部・学科コード」一覧表

本表は、願書の「志望学部・学科コード」欄の記入に用いてください。

学部	学科	コード	
理学部第一部	数学科	1	1
	物理学科	1	2
	化学科	1	3
	応用数学科	1	4
	応用物理学科	1	5
	応用化学科	1	6
薬学部	薬学科	3	1
理学部第二部	数学科	2	1
	物理学科	2	2
	化学科	2	3
工学部	建築学科	4	1
	工業化学科	4	2
	電気工学科	4	3
	情報工学科	4	6
	機械工学科	4	5

学部	学科	コード	
創城理工学部	数理科学科	6	1
	先端物理学科	6	2
	情報計算科学科	6	3
	生命生物科学科	6	4
	建築学科	7	1
	先端化学科	7	2
	電気電子情報工学科	7	3
	経営システム工学科	7	4
	機械航空宇宙工学科	7	5
	社会基盤工学科	7	6
先進工学部	電子システム工学科	8	1
	マテリアル創成工学科	8	2
	生命システム工学科	8	3
経営学部	経営学科	8	6
	ビジネスエコノミクス学科	8	7

2023年度

東京理科大学転学部・転学科願書

(A)

志望学部・ 学科コード

※受験番号

生年月日
年 月 日

学籍番号
◎出願時のもの

国籍
日本 外国
該当の文字に○印

志望学年
年

氏名	カタカナ	姓	名
	漢字		

性別
1 2
男 女
該当の数字に○印

連絡先	電話番号

住所(1)	郵便番号

カタカナ	都道府県名

住所	(カタカナ) 都・市・区・町・村名・番地・方書きなど(読みやすいように適当に空欄を入れる)
(2)	(漢字)

入学年度

現学年
年

出願書類に記入された個人情報は、「①試験実施(出願処理、選考)」、「②選考結果」、「③入学手続き」とこれらに付随する事項を行うために利用するものであり、それ以外の目的に使用することはありません。

(B) 受験許可書

学籍	学部	第	部	学科	番	氏名
<p>上記学生の受験を許可します。</p>						
						学部 長印

記入例

(A)

2023
年度

志望学部・ 学科コード
1 1

※受験番号

生年月日
0 1 0 4 1 5
年 月 日

学籍番号
2 1 2 2 9 9 9
◎出願時のもの

国籍
日本 外国
該当の文字に○印

志望学年
2 年

氏名	カタカナ	姓	名
	漢字	理科大	一郎

性別
① 2
男 女
該当の数字に○印

連絡先	電話番号
0 3 - 3 5 5 6 - 2 5 0 5	

住所(1)	郵便番号
1 6 2 8 6 0 1	

都道府県名
トウキョウト

住所(2)	(カタカナ) 都・市・区・町・村名・番地・方書きなど(読みやすいように適当に空欄を入れる)
	シンシ ュクク カク ラサ カ 1 - 3
	(漢字) 東京都新宿区神楽坂1-3

入学年度
2 0 2 2

現学年
1 年

出願書類に記入された個人情報とは、「①試験実施(出願処理、選考)」、「②選考結果」、「③入学手続き」とこれらに付随する事項を行うために利用するものであり、それ以外の目的に使用することはありません。

(B) 受験許可書

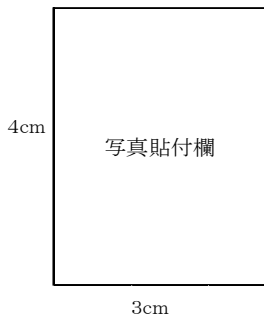
学籍	理 学部 第二部 数 学科	2122999	番	氏 名	理科大 一郎
上記学生の受験を許可します。					
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学部 長印 </div>					

東京理科大学転学部・転学科願書

記入例

(C) 転学部転学科

受験番号	
志望学部	理 一 学部 第 部
志望学科学年	数 2 学科 年
フリガナ	リカダイ イチロウ
氏名	理科大 一郎



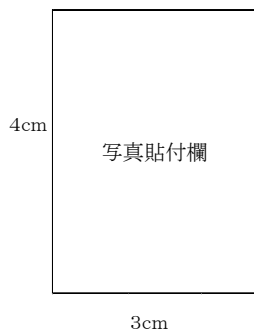
2023 年 度

(D) 転学部転学科受験票

受験番号	
志望学部	理 一 学部 第 部
志望学科学年	数 2 学科 年
フリガナ	リカダイ イチロウ
氏名	理科大 一郎

(C) 転学部転学科

受験番号	
志望学部	学部 第 部
志望学科学年	学科 年
フリガナ	
氏名	



2023 年 度

(D) 転学部転学科受験票

受験番号	
志望学部	学部 第 部
志望学科学年	学科 年
フリガナ	
氏名	

2023 年 度

2023 年度 転学部・転学科審査料 納入書類等貼付台紙

氏 名 _____

審査料納入後、枠内に「振込明細書等の写し（振込先の口座名・振込金額が明記されたもの）」を貼付すること。

審査料	35,000 円
審査料の納入先	銀行名：みずほ銀行 支店名：飯田橋支店 預金種目：普通預金 口座番号：1000200 口座名義：東京理科大学（トウキョウリカダイガク）

※振込明細書等は、折り曲げや横向きに貼付してもよい。

※原本の提出が難しい場合は、学部事務課窓口にご相談ください。